

### 総合戦略の基本的考え方

- ▶ テレワークの普及や地方移住への関心の高まりなど、**社会情勢がこれまでとは大きく変化している中、今こそデジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化し、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す。**
- ▶ **東京圏への過度な一極集中の是正や多極化を図り、地方に住み働きながら、都会に匹敵する情報やサービスを利用できるようにすることで、地方の社会課題を成長の原動力とし、地方から全国へとボトムアップの成長につなげていく。**
- ▶ デジタル技術の活用は、その**実証の段階から実装の段階に着実に移行**しつつあり、デジタル実装に向けた各府省庁の施策の推進に加え、デジタル田園都市国家構想交付金の活用等により、**各地域の優良事例の横展開を加速化。**
- ▶ **これまでの地方創生の取組も、全国で取り組まれてきた中で蓄積された成果や知見に基づき、改善を加えながら推進していくことが重要。**

### <総合戦略のポイント>

- まち・ひと・しごと創生総合戦略を抜本的に改訂し、**2023年度から2027年度までの5か年の新たな総合戦略**を策定。デジタル田園都市国家構想基本方針で定めた取組の方向性に沿って、**各府省庁の施策の充実・具体化**を図るとともに、**KPIとロードマップ（工程表）**を位置付け。
- 地方は、地域それぞれが抱える社会課題等を踏まえ、**地域の個性や魅力を生かした地域ビジョンを再構築し、地方版総合戦略を改訂。地域ビジョン実現に向け、国は政府一丸となって総合的・効果的に支援する観点から、必要な施策間の連携をこれまで以上に強化**するとともに、同様の社会課題を抱える複数の地方公共団体が連携して、効果的かつ効率的に課題解決に取り組むことができるよう、**デジタルの力も活用した地域間連携の在り方や推進策を提示。**

### 施策の方向

#### デジタルの力を活用した地方の社会課題解決

#### デジタルの力を活用して地方の社会課題解決に向けた取組を加速化・深化

- 1 地方に仕事をつくる**  
スタートアップ・エコシステムの確立、中小・中堅企業DX（キャッシュレス決済、シェアリングエコノミー等）、スマート農林水産業・食品産業、観光DX、地方大学を核としたイノベーション創出 等
- 2 人の流れをつくる**  
「転職なき移住」の推進、オンライン関係人口の創出・拡大、二地域居住等の推進、地方大学・高校の魅力向上、女性や若者に選ばれた地域づくり 等
- 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる**  
結婚・出産・子育ての支援、仕事と子育ての両立など子育てしやすい環境づくり、こども政策におけるDX等のデジタル技術を活用した地域の様々な取組の推進 等
- 4 魅力的な地域をつくる**  
教育DX、医療・介護分野DX、地域交通・インフラ・物流DX、まちづくり、文化・スポーツ、防災・減災、国土強靱化の強化等、地域コミュニティ機能の維持・強化等

地方のデジタル実装を支援

#### デジタル実装の基礎条件整備

#### デジタル実装の前提となる取組を国が強力に推進

- 1 デジタル基盤の整備**  
デジタルインフラの整備、マイナンバーカードの普及促進・活用拡大、データ連携基盤の構築（デジタル社会実装基盤全国総合整備計画の策定等）、ICTの活用による持続可能性と利便性の高い公共交通ネットワークの整備、エネルギーインフラのデジタル化 等
- 2 デジタル人材の育成・確保**  
デジタル人材育成プラットフォームの構築、職業訓練のデジタル分野の重点化、高等教育機関等におけるデジタル人材の育成、デジタル人材の地域への還流促進、女性デジタル人材の育成・確保 等
- 3 誰一人取り残されないための取組**  
デジタル推進委員の展開、デジタル共生社会の実現、経済的事情等に基づくデジタルデバイドの是正、利用者視点でのサービスデザイン体制の確立 等



### 地域ビジョンの実現に向けた施策間連携・地域間連携の推進

#### <モデル地域ビジョンの例>

<b>■ スマートシティ スーパーシティ</b> スマートシティ AICT (福島県会津若松市)	<b>■ 「デジ」活 中山間地域</b> 抱い手減少に対応した自動草刈機の導入
<b>■ SDGs未来都市</b> 地域交通システムやコミュニケーションロボットの活用 (宮城県石巻市)	<b>■ 産学官 協創都市</b> データを活用したスマート農業の取組 (高知県・高知大学)
<b>■ 脱炭素 先行地域</b>	<b>■ 産学官 協創都市</b> バイオマス発電所稼働による新産業の創出 (岡山県真庭市)

#### <重要施策分野の例>

<b>■ 地域交通の リ・デザイン</b> 自動運転バス の運行 (茨城県岡町)	<b>■ こども政策</b> 保健師等との オンライン相談 (山梨県富士吉田市)	<b>■ 教育DX</b> オンラインによる 遠隔合同授業 (鹿児島県三島村)	<b>■ 地域防災力 の向上</b> GPS除雪管理 システムの導入 (山形県飯坂町)
<b>■ 遠隔医療</b> 医療機器装備の 移動診療車 (長野県伊那市)	<b>■ 地方創生 テレワーク</b> 空き蔵を活用した サテライト オフィスの整備 (福島県喜多市)	<b>■ 観光DX</b> 観光アプリを活用 した混雑回避・ 人流分散 (京都府京都市)	

### 地域ビジョン実現を後押し

#### <施策間連携の例>

関連施策の取りまとめ	重点支援	優良事例の横展開	伴走型支援
✓ 関係府省庁の施策を取りまとめ、地方にわかりやすい形で提示	✓ モデルとなる地域を選定し、選定地域の評価・支援	✓ 他地域のモデルとなる優良事例の周知・共有、横展開	✓ ワンストップ型相談体制の構築や地方支分部局の活用等による伴走型支援

#### <地域間連携の例>

デジタルを活用した取組の深化	重点支援	優良事例の横展開
✓ 自治体間連携の枠組みにおけるデジタル活用の取組を促進	✓ 国が事業の採択や地域の選定等を行う際に、地域間連携を行う取組を評価・支援	✓ 地域間連携の優良事例を収集し、メニューブック等を通じて広く周知・共有

# 「地方版総合戦略の策定・効果検証のための手引き（令和4年12月版）」の改訂等について

- デジタル田園都市国家構想総合戦略の閣議決定を踏まえ、「デジタル田園都市国家構想総合戦略を勘案した地方版総合戦略の策定・改訂について(通知)」を発出し、併せて、「地方版総合戦略の策定・効果検証のための手引き(令和4年12月版)」を改訂。

## 見直しの主な内容

デジタル田園都市国家構想総合戦略により、デジタルの力を活用し地方の社会課題解決や魅力向上の取組の加速化・深化を図る観点から、地方版総合戦略の手引きについて、以下の見直しを行う。

- ① 施策間連携・地域間連携の重要性についての記載を追加（1-4）
- ② デジタル関連の外部有識者の参画に係る例示等を追加（2-2）
- ③ デジタル担当部局との連携の重要性についての記載を追加（2-3）
- ④ 地方版総合戦略の名称の例示等を追加（3-1、3-2）
- ⑤ これまでの地方創生の取組との関係に関する説明を追加（3-5）
- ⑥ 地域ビジョンに関する記載を追加（3-6）
- ⑦ デジタル技術を活用した特徴的事例(例示)を追加  
（1-1、1-2、1-3、1-4、4-1、4-2）

# 見直しの主な内容①

## ① 施策間連携・地域間連携の重要性についての記載を追加 (P 4, 5)

- ◇ 国の総合戦略において、地域ビジョン実現のために施策間連携・地域間連携が重要である旨が記載されていることから、地方版総合戦略においても、既存の「地域間連携の重要性」の項目に、「施策間連携の重要性」を追加。
- ◇ 地域間連携についても、連携中枢都市圏・定住自立圏における取組内容を深化させることが重要であること、デジタルの力を活用した、地理的な連坦性に捉われない地域間連携も可能であることなどを追記し、記載内容を充実。
- ◇ また、施策間連携と地域間連携を同時に進めることで施策効果が高まる旨も記載。

## ② デジタル関連の外部有識者の参画に係る例示等を追加 (P 6, 7)

- ◇ 地方版総合戦略の策定・改訂のプロセスにおいては、産官学金労言士など多様な関係者で構成する推進組織で検討することが重要であるところ、デジタル関連の施策を実効的なものとするため、推進組織にはデジタル分野に精通する団体・有識者等の参画を求めることが重要である旨を追記するとともに、デジタル分野の団体・有識者の例示を追記。

### <例示>

- ・大学や高等専門学校等の高等教育機関
- ・情報通信技術や先端技術を専門とする企業、団体
- ・DX推進のために地方公共団体等が委嘱したアドバイザー

## ③ デジタル担当部局との連携の重要性についての記載を追加 (P 7)

- ◇ 地方版総合戦略の策定・改訂等に当たり、地方創生担当部局に加え、デジタル担当部局の協力も必要となることから、「庁内における推進体制」の項目に、地方創生担当部局やデジタル担当部局をはじめとした庁内の各部局が連携して総合的に対応するよう追記。



## 見直しの主な内容②

### ④ 地方版総合戦略の名称の例示等を追加 (P 8)

◇ 国の総合戦略の名称が変わることから、新たに「地方版総合戦略の名称」という項目を設ける。名称については、地域の実情に応じて設定することが適切であるが、例えば以下のような名称が考えられる旨を追記。

<例示>

- ・〇〇市デジタル田園都市国家構想総合戦略
- ・〇〇市デジタル田園都市構想総合戦略
- ・〇〇市デジタル田園都市国家構想の実現に向けたまち・ひと・しごと創生総合戦略

◇ また、国の総合戦略の期間も変わるため、新たに「地方版総合戦略の期間」という項目を設け、地方版総合戦略の期間は、国の総合戦略の期間(R5～R9)を勘案したうえで設定に努めるよう記載。  
(ただし、地域の実情に応じた期間を設定することも差し支えない旨も記載。)

### ⑤ これまでの地方創生の取組との関係に関する説明を追加 (P 10)

◇ 新たに「これまでの地方創生の取組との関係」という項目を設け、国の総合戦略に倣い、これまでの様々な地域の社会課題解決・魅力向上に向けた取組を今後はデジタルの力を活用して継承・発展させていくことが肝要である旨を記載。

### ⑥ 地域ビジョンに関する記載を追加 (P 10～12)

◇ 新たに「地域ビジョンの再構築」という項目を設け、  
・国においては、デジタル田園都市国家構想の実現に向けた取組を円滑に進めるため、まち・ひと・しごと創生法に基づく枠組みを有効に活用することとしている  
・地域においても、社会課題解決を図るために自らの地域ビジョン(地域が目指すべき理想像)を再構築したうえで地方版総合戦略を改訂し、具体の取組を推進することが重要である  
旨を記載。併せて、参考として国の総合戦略で示したモデル地域ビジョンと重要施策分野の例についても記載。

### ⑦ デジタル技術を活用した特徴的事例(例示)を追加

- ◇ 手引きの以下の各項目に記載している特徴的事例(例示)に、デジタル技術を活用したものを追加。
- ・都道府県の役割の例(P2)
  - ・市町村間連携の特徴的事例(P3)
  - ・地域間連携の特徴的事例(連携中枢都市圏)(P5)
  - ・施策における重要業績評価指標(KPI)の例(P16)
  - ・地方版総合戦略の骨格の具体例(P17)
  - ・市町村の役割の例と特徴的事例(P2、3)
  - ・都道府県と市町村との連携の特徴的事例(P4)
  - ・数値目標の例(P14)

# 次期総合戦略に向けた進め方

2023(R5)

- デジタル田園都市構想に向けた調査研究および町としての考え方を検討

2024(R6)

- 阿見町デジタル田園都市構想総合戦略（仮）を策定  
（国の総合戦略を勘案するとR7～R9が計画期間となるが、市町村の状況により変更も可能）
- これまでの阿見町人と自然が織りなす輝くまち創生総合戦略の成果を踏まえ、市制移行やSDGsの考え方も反映。

2025(R7)～

- 阿見町デジタル田園都市構想総合戦略（仮）を推進